

産業医監修のもと、公的エビデンスに準拠（法定・特定健診項目等）して検査項目を設定しています。

- ・ 肝炎検査（B・C型肝炎）は5年に1度実施
- ・ 脳検査を2年に1度、補助を実施
- ・ P S A（前立腺がん検査）は50歳以上男性に実施

		検査項目			説明
		一般健康診断 A2	生活習慣病検診 B	人間ドック D1	
健診項目	対象者	～34歳 社員/配偶者	35歳以上 社員/家族	40歳以上 社員/家族	
身体計測	問診（服薬歴、喫煙歴等）及び診察	◆	◆	◆	
	質問票	◆	◆	◆	
	身長・体重・肥満度（BMI）	◆	◆	◆	
	腹囲	◆	◆	◆	
	視力	◆	◆	◆	
	聴力（1000、4000HZ）	◆	◆	◆	
尿・便検査	糖	◆	◆	◆	糖尿病などを調べる
	蛋白	◆	◆	◆	疲労・生理などで異常値がでる場合がある
	潜血		◆	◆	生理の時にも（+）になることがある
	比重			◆	腎機能の影響があらわれる
	沈渣			◆	尿中の固形成分を見る検査
	便潜血2日法		◆*	◆*	大腸がんの検査（消化器系の出血などを調べる）
血液一般	赤血球数（RBC）	◆	◆	◆	赤血球は、細胞に酸素を送り炭酸ガスを運び出す
	白血球数（WBC）		◆	◆	白血球の働きは体を防御すること。おもに感染症で増加する。
	色素量（Hb）	◆	◆	◆	ヘモグロビンの量を測定する
	ヘマトクリット（Ht）		◆	◆	貧血、出血などを調べる
	MCV・MCH・MCHC		◆	◆	赤血球の平均の大きさ、色素量などを表す
	血小板数		◆	◆	出血傾向などを調べる
肝機能	GOT	◆	◆	◆	心臓や肝臓に多く含まれる酵素
	GPT	◆	◆	◆	肝臓に多く含まれる酵素でGOTと同じ働きをする
	γ-GTP	◆	◆	◆	肝・胆道疾患の目安となる酵素。お酒をたくさん飲む人は高値を示す
	総ビリルビン（T-Bil）			◆	肝臓や胆のうに病気があると血液中に増える
	総蛋白（TP）			◆	血液中に含まれているタンパクの総称
	アルカリフォスファターゼ（ALP）		◆	◆	骨、肝臓、胆のうに多く含まれる
脂質	アルブミン（Alb）			◆	総蛋白の中で一番多いタンパクの総称
	中性脂肪（TG）	◆	◆	◆	エネルギー源として使われ、皮下脂肪のもとになる
	HDLコレステロール（HDL-C）	◆	◆	◆	血管の中を掃除して動脈硬化を防ぐと言われていた
糖尿	LDLコレステロール（LDL-C）	◆	◆	◆	悪玉コレステロールと言われ、動脈硬化の危険因子になる
	空腹時血糖	◆	◆	◆	糖尿病や低血糖症の可能性をチェックする
腎	ヘモグロビンA1c（HbA1c）		◆	◆	約1～2ヶ月前の血糖値のコントロールの度合いを表す
	血清クレアチニン（CRN）		◆	◆	腎臓に病気があると血液中に増えてくる
感染症	C反応性蛋白定性（CRP）			◆	炎症や組織が破壊されたときに値が高くなる
	H B s 抗原			◆	B型肝炎ウイルスの感染を調べる
	H C V 抗体			◆	C型肝炎ウイルスの感染を調べる
梅毒	T P H A 定性			◆	梅毒の検査、肺炎肝硬変などで陽性を示すことがある
	血清尿酸（UA）		◆	◆	痛風の原因物質
循環器	血圧	◆	◆	◆	心臓収縮時が最高血圧で、拡張時が最低血圧
	眼圧			◆	緑内障を発見する検査
	眼底（両眼）			◆	高血圧や動脈硬化などを調べる
	心電図（安静時）	◆	◆	◆	不整脈、心肥大などを調べる
呼吸器	胸部X線（1方向・直接）	*	*		肺結核、肺がん、じん肺、心肥大などを調べる
	胸部X線（2方向・直接）			◆*	
	肺機能検査			◆	肺活量などを調べる
超音波	腹部エコー			◆	肝臓・胆のう・腎臓・すい臓などを調べる
消化器	胃部X線（直接）		◆*	◆*	バリウムを飲んで粘膜を見やすくする
前立腺	P S A 検査			◆* ※1	前立腺がんを調べる

※1 50歳以上男性に実施

※2 実施年度：2015年度、2020年度、2025年度…

		35歳以上の女性			説明
婦人科	乳房触診		*	*	
	乳房マンモグラフィー		*	*	
	乳房超音波		*	*	
	子宮細胞診・内診		*	*	

		50歳以上			説明
脳神経	M R I			2年に1回	
	M R A			2年に1回	

◆	法定健診指定項目	*	がん検診項目
◆	特定健診指定項目	◆	特に指定のない項目
◆	法定健診&特定健診	◆	人間ドック協会指定項目